



公館案内

領事関連手続き

生活・安全情報

二国間関係・外交政策

経済・開発協力

広報文化

リンク

[トップページ](#) > ペルーの経済情勢（2022年第3四半期）

ペルーの経済情勢（2022年第3四半期）

2022/11/10

1 総論

最新のペルーの月例主要経済指標は、経済成長率1.68%（8月：前年同月比）、リマ首都圏のインフレ率8.53%（9月までの一年間）、対米ドル為替相場3.899ソル（9月平均値）、リマ首都圏の完全失業率7.7%（7月～9月）、財政収支約9億ソルの黒字（9月）、貿易収支約3億米ドルの黒字（8月）となった。

2 各論

(1) 主要経済指標

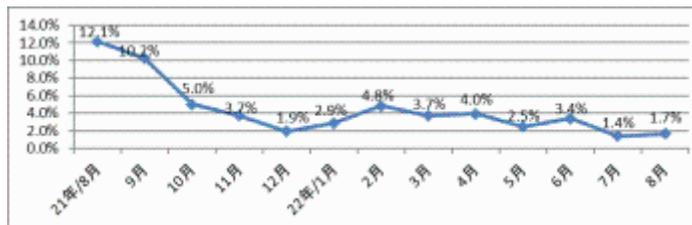
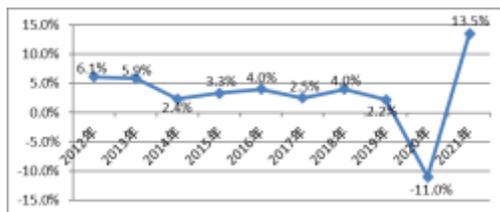
ペルー中央準備銀行及び国家統計情報庁によると、ペルーの主要経済指標は次のとおり。

ア 経済成長率

最新の経済成長率（GDP成長率）について、8月は主に宿泊・飲食業及び運輸・倉庫・郵便等の成長率の伸びが見られた一方、漁業等がマイナスとなり、全体としてGDP成長率は1.68%（前年同月比）となった。

GDP成長率(前年同月比)推移

2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2021					2022							
年間	年間	21年/8月	9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月								
6.1%	5.9%	2.4%	3.3%	4.0%	2.5%	4.0%	2.2%	-11.0%	13.5%	12.1%	10.2%	5.0%	3.7%	1.9%	2.9%	4.8%	3.7%	4.0%	2.5%	3.4%	1.4%	1.7%



分業別GDP成長率(2022年8月、前年同月比)

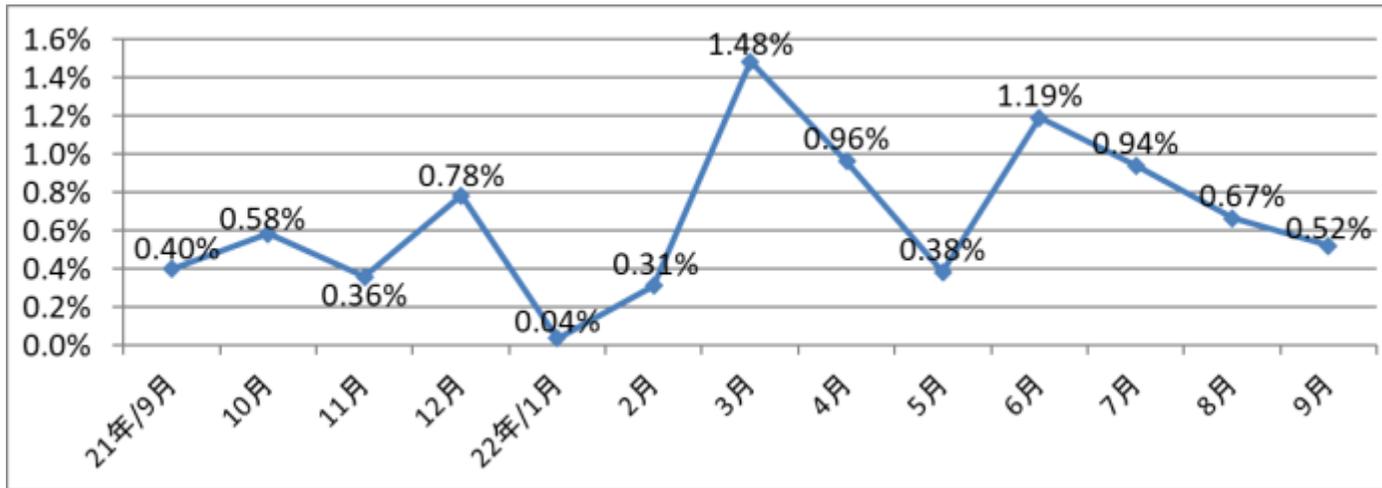
農牧	3.51%	運輸・倉庫・郵便等	8.46%
漁業	-14.75%	宿泊・飲食業	10.75%
鉱業・炭化水素	-5.01%	通信・情報	-2.75%
製造	-0.77%	金融・保険	-8.28%
電力・ガス・水	3.43%	企業貸付	1.60%
建設	5.62%	行政、国防等	2.53%
商業	2.26%	その他	5.75%

イ インフレ率

9月のリマ首都圏のインフレ率（消費者物価指数（前月比））は、0.52%となり、最近12か月（2021年10月～2022年9月）の上昇率は、8.53%となった。

リマ首都圏インフレ率(前月比)の推移

2017年間	2018年間	2019年間	2020年間	2021年間	21年/9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2.80%	1.32%	2.14%	1.83%	3.98%	0.40%	0.58%	0.36%	0.78%	0.04%	0.31%	1.48%	0.96%	0.38%	1.19%	0.94%	0.67%	0.52%

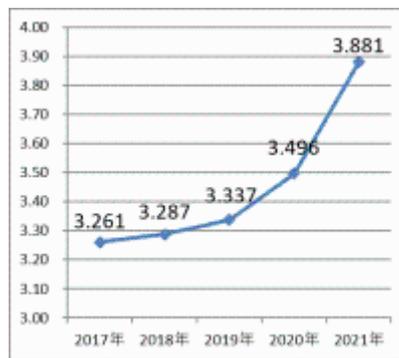


ウ 為替相場

9月の対米ドル為替相場の平均は3.899ソルであった。

為替の推移(ソル/ドル)(平均)

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	21年/9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
3.261	3.287	3.337	3.496	3.881	4.108	4.014	4.020	4.037	3.888	3.791	3.739	3.741	3.757	3.748	3.903	3.874	3.899

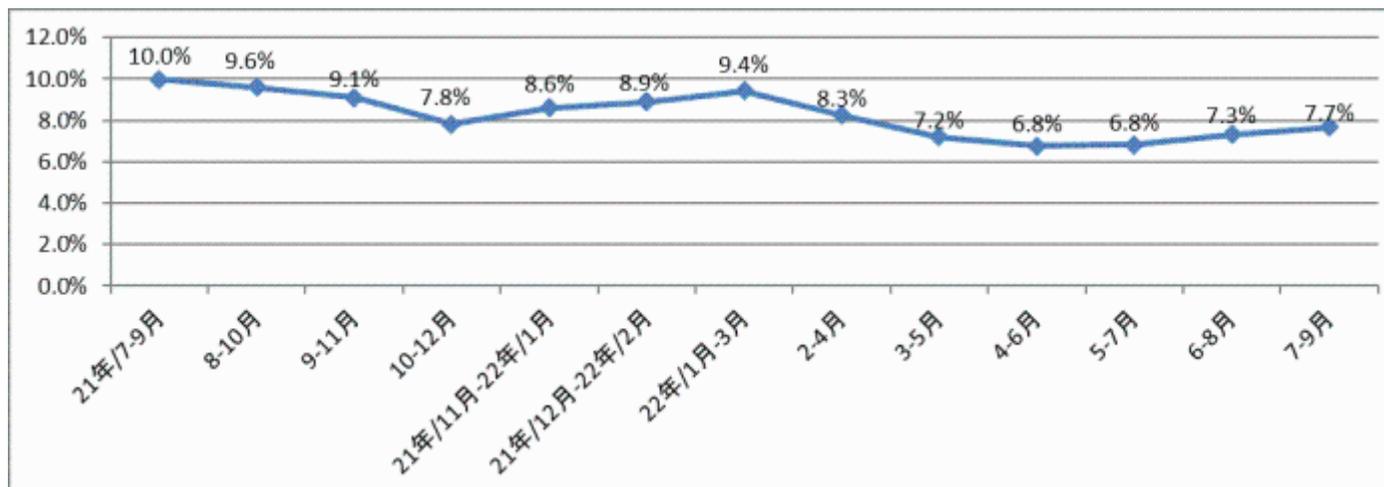


エ 失業率

7月～9月のリマ首都圏の完全失業率は7.7%であった。

リマ首都圏失業率推移

21年/7-9月	8-10月	9-11月	10-12月	21年/11月-22年/1月	21年/12月-22年/2月	22年/1月-3月	2-4月	3-5月	4-6月	5-7月	6-8月	7-9月
10.0%	9.6%	9.1%	7.8%	8.6%	8.9%	9.4%	8.3%	7.2%	6.8%	6.8%	7.3%	7.7%



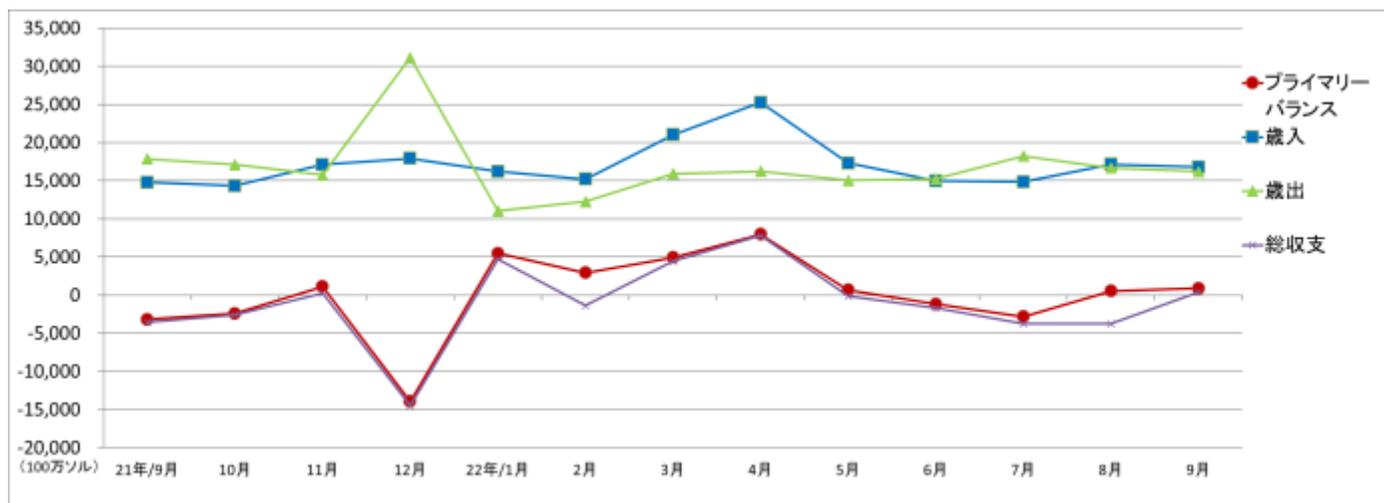
オ 財政収支

9月の政府全体の財政収支は、歳入が対前年同月比で13.6%増となり、歳出は同比で9.2%減となった。全体では、プライマリーバランスは約9億ソルの黒字となった。債務の利払いを含めると約4億ソルの黒字となった。

財政収支

	2017年間	2018年間	2019年間	2020年間	2021年間	21年/9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前年同月比	前年同月比*
歳入	126,583	142,627	152,019	127,902	183,311	14,791	14,323	17,112	17,912	16,219	15,220	21,014	25,236	17,321	14,980	14,859	17,156	16,802	13.6	18.0
歳出	139,894	149,384	154,388	177,385	194,046	17,855	17,123	15,752	31,134	11,046	12,278	15,910	16,247	15,059	15,253	18,229	16,704	16,217	-9.2	5.1
資本的収入	682	-328	641	-2,771	1,224	-99	399	-225	-697	309	-27	-159	-1,033	-1,584	-894	560	90	325	-	-
プライマリーバランス	-12,629	-7,065	-1,728	-52,254	-9,512	-3,163	-2,401	1,135	-13,919	5,482	2,915	4,944	7,957	678	-1,167	-2,810	542	909	-	-
債務利払い	8,340	10,013	10,662	11,496	13,244	405	158	874	551	756	4,295	509	163	806	530	936	4,288	499	23.2	10.0
総収支	-20,969	-17,078	-12,391	-63,749	-22,756	-3,568	-2,559	261	-14,470	4,726	-1,380	4,436	7,794	-128	-1,698	-3,746	-3,746	410	-	-

* 2021年1-9月と2022年同期累計差異。



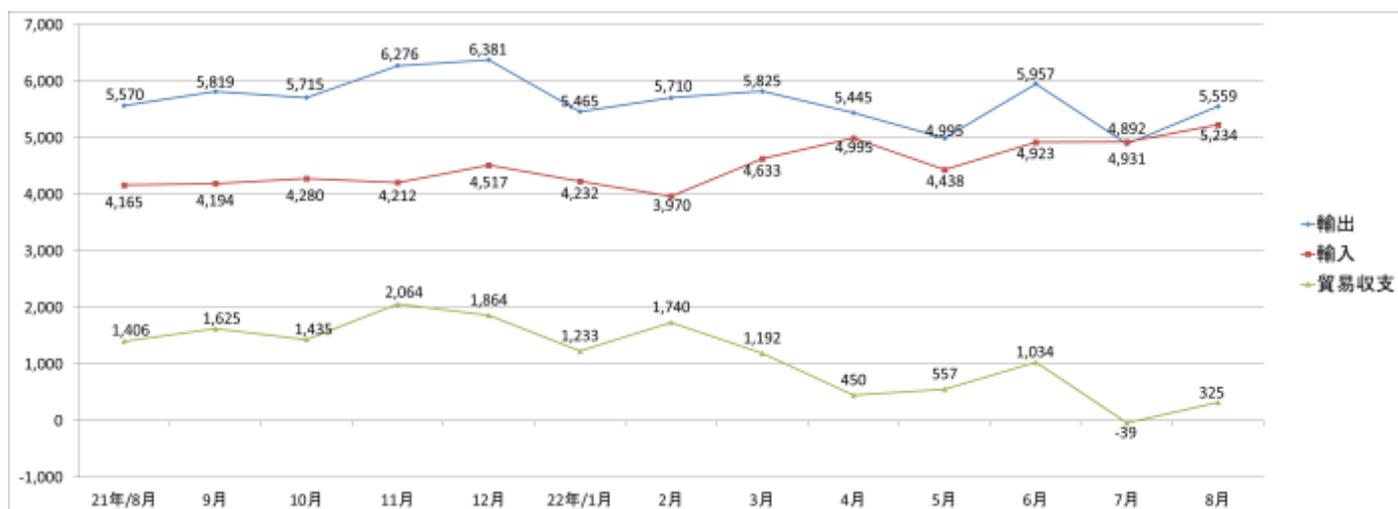
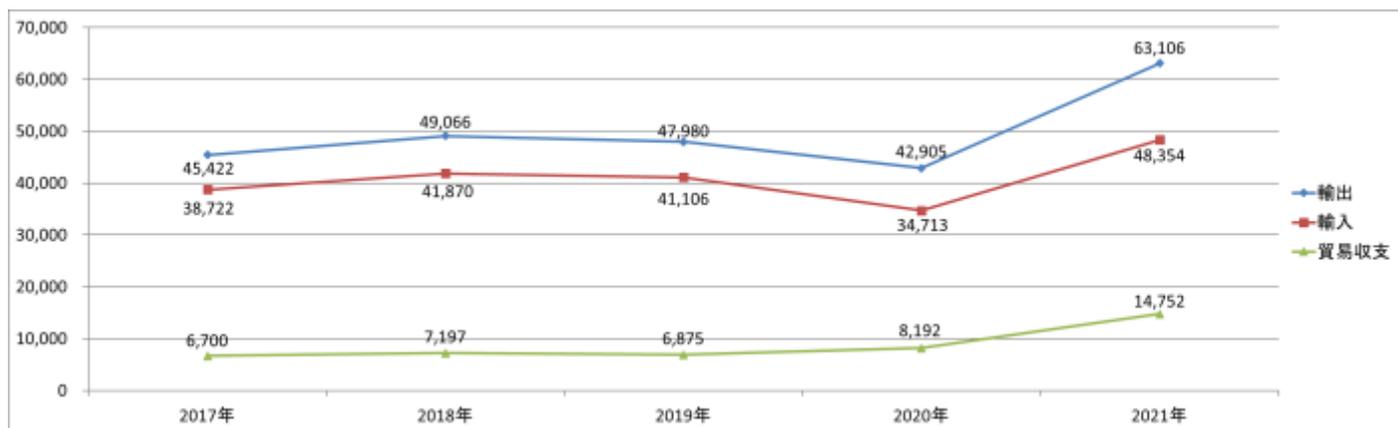
カ 貿易収支

8月の輸出額は、伝統産品（鉱物資源、魚粉、コーヒー等）が対前年同月比6.4%減、非伝統産品（アスパラガスなどの近代的農業産品、繊維製品、工業製品等）が17.8%増となり、全体では約56億米ドル（対前年同月比0.2%減）となった。主要輸出品目は銅、金、魚粉であった。

輸入額は、対前年同月比で消費財が20.3%増、中間財は41.4%増、資本財が1.5%増となり、全体で約52億米ドル（対前年同月比25.7%増）となった。この結果、貿易収支は約3億米ドルの黒字となった。主要輸入品目は原油、軽油、自動車であった。

貿易収支	(百万ドル)																前年同月比	前年同月比率		
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	21年/8月	9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月	4月	5月	6月			7月	8月
輸出	45,422	49,066	47,980	42,905	63,106	5,570	5,819	5,715	6,276	6,381	5,465	5,710	5,825	5,445	4,995	5,957	4,892	5,559	-0.2%	12.6%
伝統産品	33,566	35,638	34,014	30,013	46,541	4,189	4,234	4,080	4,694	4,558	4,001	4,243	4,352	4,143	3,574	4,571	3,324	3,920	-6.4%	10.7%
非伝統産品	11,725	13,240	13,812	12,770	16,372	1,374	1,571	1,611	1,582	1,804	1,447	1,448	1,453	1,289	1,393	1,386	1,542	1,619	17.6%	17.6%
その他	130	189	154	121	193	7	14	25	20	19	18	18	20	13	28	20	25	21	209.0%	42.9%
輸入	38,722	41,870	41,106	34,713	48,354	4,185	4,194	4,280	4,212	4,517	4,232	3,970	4,633	4,995	4,438	4,923	4,931	5,234	25.7%	20.1%
消費財	9,339	9,591	9,588	8,733	10,182	834	852	932	837	951	789	795	928	848	839	929	1,033	1,003	20.3%	8.4%
中間財	17,902	20,516	19,110	15,435	23,999	2,135	2,185	2,256	2,254	2,311	2,212	2,199	2,485	2,895	2,478	2,877	2,730	3,018	41.4%	39.7%
資本財	11,316	11,641	12,305	10,455	14,035	1,189	1,151	1,087	1,115	1,250	1,221	972	1,216	1,247	1,115	1,111	1,164	1,208	1.5%	-1.9%
その他	164	123	102	90	138	7	6	5	6	5	9	5	5	5	6	6	5	5	-21.3%	-59.5%
貿易収支	6,700	7,197	6,875	8,192	14,752	1,406	1,625	1,435	2,064	1,864	1,233	1,740	1,192	450	557	1,034	-39	325	-	-

※ 2021年1-8月と2022年同期累計差異。

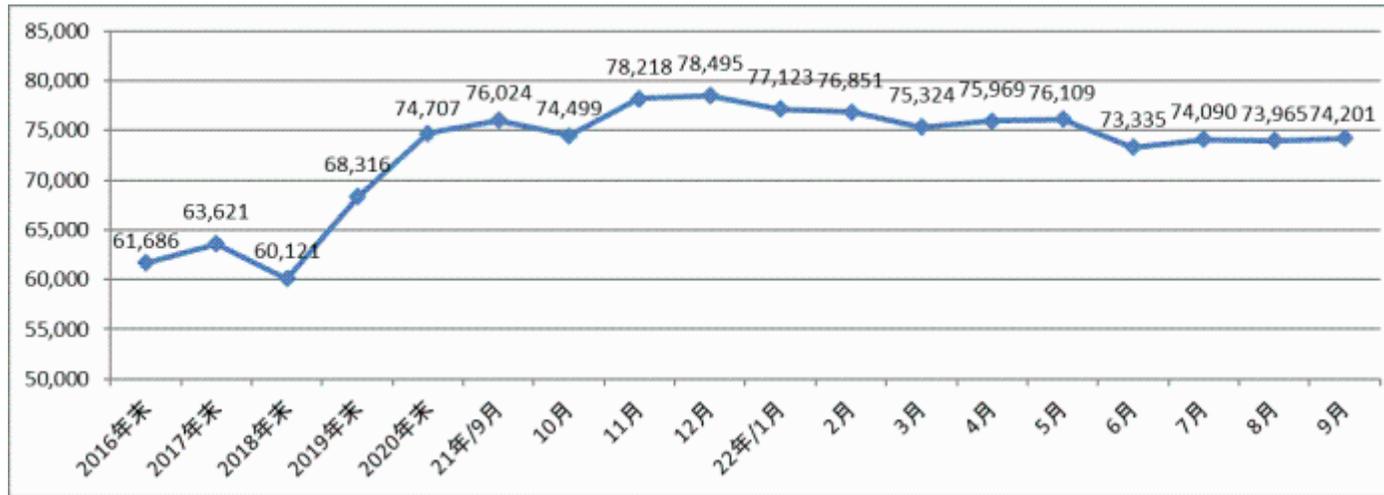


キ 外貨準備高

9月末の外貨準備高は約742億米ドルとなった。

外貨準備高 (百万ドル)

2016年末	2017年末	2018年末	2019年末	2020年末	21年/9月	10月	11月	12月	22年/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
61,686	63,621	60,121	68,316	74,707	76,024	74,499	78,218	78,495	77,123	76,851	75,324	75,969	76,109	73,335	74,030	73,965	74,201



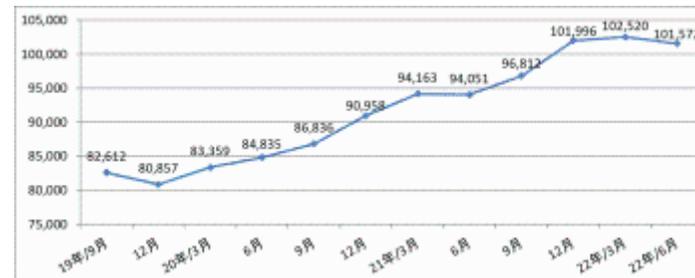
ク 対外累積債務

2022年6月末の対外債務累積総額は約1,016億米ドルとなった。

対外債務累積

(百万ドル)

	2017年末	2018年末	19年/9月	12月	20年/3月	6月	9月	12月	21年/3月	6月	9月	12月	22年/3月	22年/6月	前年同月比
対外債務累積額	76,499	77,787	82,612	80,857	83,359	84,835	86,836	90,958	94,163	94,051	96,812	101,996	102,520	101,572	1.1%
中長期債務	68,019	68,430	74,111	72,988	74,396	76,003	77,857	81,209	85,053	82,610	86,118	92,496	93,567	92,573	1.1%
民間債務	35,067	33,518	35,819	33,724	33,620	32,337	32,370	31,324	31,971	30,399	31,024	31,957	32,434	32,408	1.1%
公的債務	32,953	34,912	38,292	39,264	40,776	43,666	45,487	49,885	53,082	52,211	55,094	60,538	61,133	60,166	1.2%
短期債務	8,480	9,356	8,501	7,869	8,963	8,832	8,979	9,748	9,109	11,441	10,694	9,500	8,953	8,999	0.8%



(注) 上記表中の数値は今後修正される可能性あり。

(2) 最近の主な出来事

・通商観光省発表：2022年上半期の輸出額は前年同期比18.4%増加

8月5日、通商観光省は、2022年上半期（1～6月）の輸出額が322億1,100万米ドルとなり、前年同期比18.4%の増加を記録した旨発表した。国際的なエネルギー、鉱物資源及び農産物の価格上昇が主な要因であり、輸出額の増加率の高い品目は、天然ガス（前年同期比388%増）、コーヒー（同328%増）、ブルーベリー（同118%増）、エチルアルコール（同106%増）等であった。主な仕向国・地域は中国を筆頭に、次いで米国、EU、日本、韓国であった。

・中銀（BCR）政策金利引上げ、6.50%から6.75%に上昇

9月8日、中銀（BCR）理事会は政策金利を0.25ポイント引き上げ、6.50%から6.75%とすることを決定した。これで14か月連続の引上げであり史上最高水準となった。この政策金利引上げは、直近12か月間累計のインフレ率が7月の8.74%から8月には8.40%と低下したが、国際的な食料や燃料価格の高騰により依然として政府目標値（1～3%）を上回っていること、食料とエネルギーコストを除く12か月間累計のコア・インフレ率も7月の5.44%から8月には5.39%に低下したが、同様に目標値を上回っていること等に対応するインフレ抑制策の一環とされている。中銀（BCR）は、インフレ率が目標値内に収まるのは2023年下半年（7月以降）になると予測。

・エネルギー鉱山省発表：ケジャベコ鉱山プロジェクトの商業運営の認可

9月25日、エネルギー鉱山省はケジャベコ鉱山（モケグア州）プロジェクトの商業運営を認可した旨発表した。同プロジェクトは、アングロ・アメリカン社が三菱商事と共同で開発した世界5大銅鉱床の一つであり、総投資額は55億米ドル。鉱山寿命は30年であり、銅精鉱の他、副産物としてモリブデンや銀を生産する。初年の年間銅生産量は33万トンを予定し、これによりペルー国内の銅生産量は約15%増加する見込み。また、銅の輸出総額は月20億米ドルとなり、輸出額全体の33%を占めるものと見込まれる。

(了)

Copyright(C):2017 Embassy of Japan in Peru